2024.9.3

大型公共施設建設特別委員会

四ツ池公園運動施設の整備方針に基づく検討調査業務の中間報告について

市民部スポーツ振興課

１．目的

- 四ツ池公園運動施設整備構想の検討にあたり、陸上競技場を主とした整備パターンを複数整理
- 検討手順は以下のとおり

  ①整備方針、及び調査等に基づく施設の条件を整理

  ②想定される施設規模を複数設定

  ③施設規模別に敷地内の整備パターンを整理
- 今回は、施設規模や整備パターンの共有・内容についてご協議、ご意見をいただきたい。
- そのうえで、整備モデルを絞り込み、順次作業を進める。

２．条件の整理

(1) 四ツ池公園運動施設の整備方針について（一部抜粋）

１ 四ツ池公園は、陸上競技場を整備する。

２ 陸上競技場は、公認2種以上の施設とし、サブトラックを併設する。

３ 四ツ池公園内の現野球場の機能は、静岡県において整備される遠州灘海浜公園篠原地区の野球場で担うこととし、市が整備する野球場は、既存の野球場の機能向上も含め、高校野球の大会が開催できる規模とする。

(2)整備モデルの前提条件

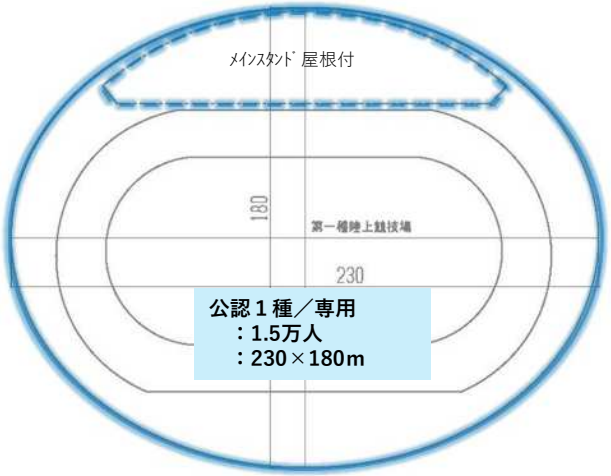
- 陸上競技場：公認１種又は２種を新設（１種には３種を併設）、フィールド２面を確保
  ※公認２種の場合に、屋内練習場の整備拡充を選択肢とする
- 継続利用　：常に活動環境が確保できている状況（施設利用休止状況をつくらない）
- 駐車場規模：各案共通で敷地内に、現状規模同等以上の面積を確保
- 自由広場　：整備後に残る現状付近の範囲で、自由広場を計画（共有スペース）

(3)公認陸上競技場の規格

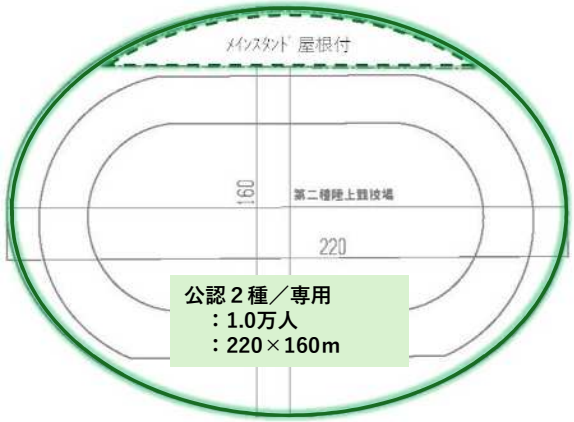
主な項目		第 1 種	第 2 種	第 3 種
1周の距離		400m		
走路	直走路	8レーン又は9レーンとする。長さ115m以上		8レーン、長さ114m以上
	曲走路	8レーン又は9レーンとする		6レーン以上とする
障害物競走設備		必　　要		無くても可
補助競技場		全天候舗装400m、 第3種公認陸上競技場	全天候舗装の競技場が あることが望ましい	無くても可
収容人員		15,000人以上（芝生席を含む）、 うちﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ屋根付7,000人以上	5,000人以上（芝生席を含む）、 うちﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ屋根付1,000人以上	相当数
更衣室		300人以上収容し得ること	100人以上収容し得ること	あることが望ましい
ｳｴｲﾄ・ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ場		必要	無くても可	
トラックとフィールドの舗装材		全天候舗装の施設を要する		
夜間照明		1m220の高さで平均照度1,000Lx程度、フィニッシュラインは1,500Lx以上	あることが望ましい（移動式可）、フィニッシュライン付近は写真判定に支障の無い明るさ	規定なし
インフィールド		天然芝・投てき実施可能な人工芝とする		
浴場またはシャワー室		男女各2カ所以上		あることが望ましい
競技場にて開催できる競技会の種別の標準		日本陸連が主催する日本陸上競技選手権大会、国民体育大会等の全国規模競技会及び国際的な競技会	加盟団体等が主催する選手権大会及び主要な競技会並びに日本陸連が承認し主催する競技会	加盟団体等が主催する協議会
公認料 （継続の場合半額）		880,000円（税込）	495,000円（税込）	165,000円（税込）

(4)陸上競技場、屋内練習場　サイズ設定

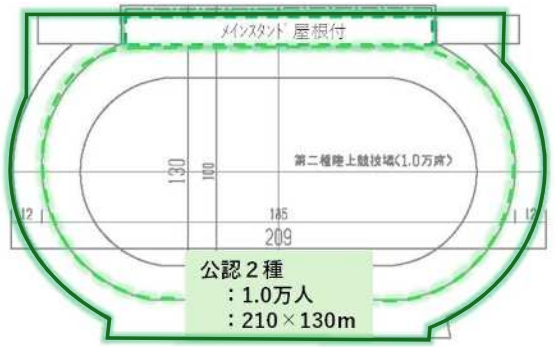
□**公認１種／専用**【1.5万人以上（0.7万以上）】
・**草薙**　：235×175【2.8万（0.80）】
・**松本平**：210×175【1.5万（0.90）】
⇒①１種：230×180【1.5万（0.90）】



□**公認２種／専用**【0.5万人以上（0.1万以上）】
・**富士**　：220×160【1.0万（0.16）】
⇒②２種：220×160【1.0万（0.50）】

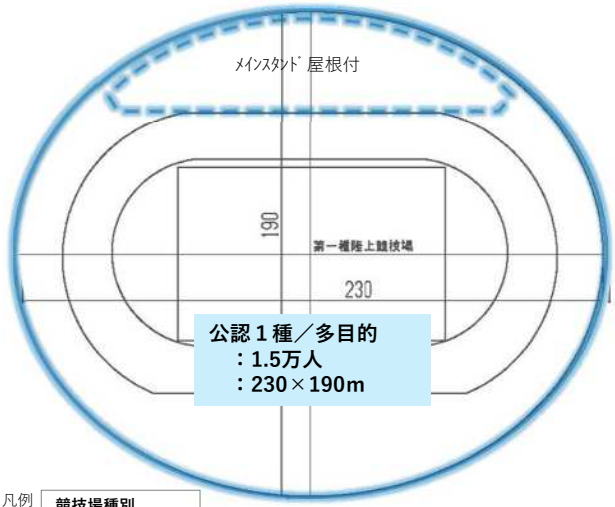


□**公認２種**【0.5万人以上（0.1万以上）】
・**四ツ池**：210×130【1.0万（0.16）】

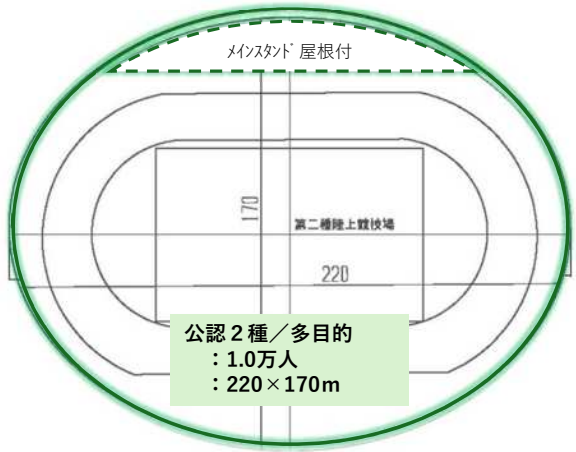


□**公認３種**【客席不要】
・**四ッ池フィールド範囲**：185×100【0万（0）】
⇒③３種：185×100【0万（0）】

□**公認１種／多目的**【1.5万人以上（0.7万以上）】
・**長良川**：225×190【2.6万（1.75）】
・**伊勢**　：235×200【1.9万（1.25）】
⇒①１種：230×190【1.5万（0.90）】

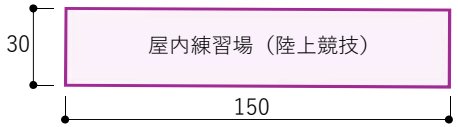


□**公認２種／多目的**【0.5万人以上（0.1万以上）】
・**愛鷹**　：225×170【1.0万（0.50）】
⇒②２種：220×170【1.0万（0.50）】

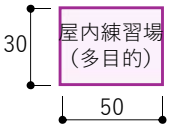


凡例
競技場種別
：収容人員
：長辺×短辺m

□屋内練習場（陸上競技）
・**ｼﾞｬﾊﾟﾝｱｽﾘｰﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ大隅**：175×32
（150×5ﾚｰﾝ＋跳躍競技）
・**ひなた宮崎県総合運動公園**　：140×12.5（130×5ﾚｰﾝ）
⇒150 × 30（130×5ﾚｰﾝ＋跳躍競技）



□屋内練習場（多目的）
・**ボールパーク静岡**　：30×16
・**ケイスポーツﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙｱｶﾃﾞﾐｰ**　：35×28
・**草薙総合運動場屋内運動場**　：50×50
⇒**50 × 30**



⑸施設・規模別概算表

・他都市の施設建設に係る事業費から割り出したうえで物価スライドを反映

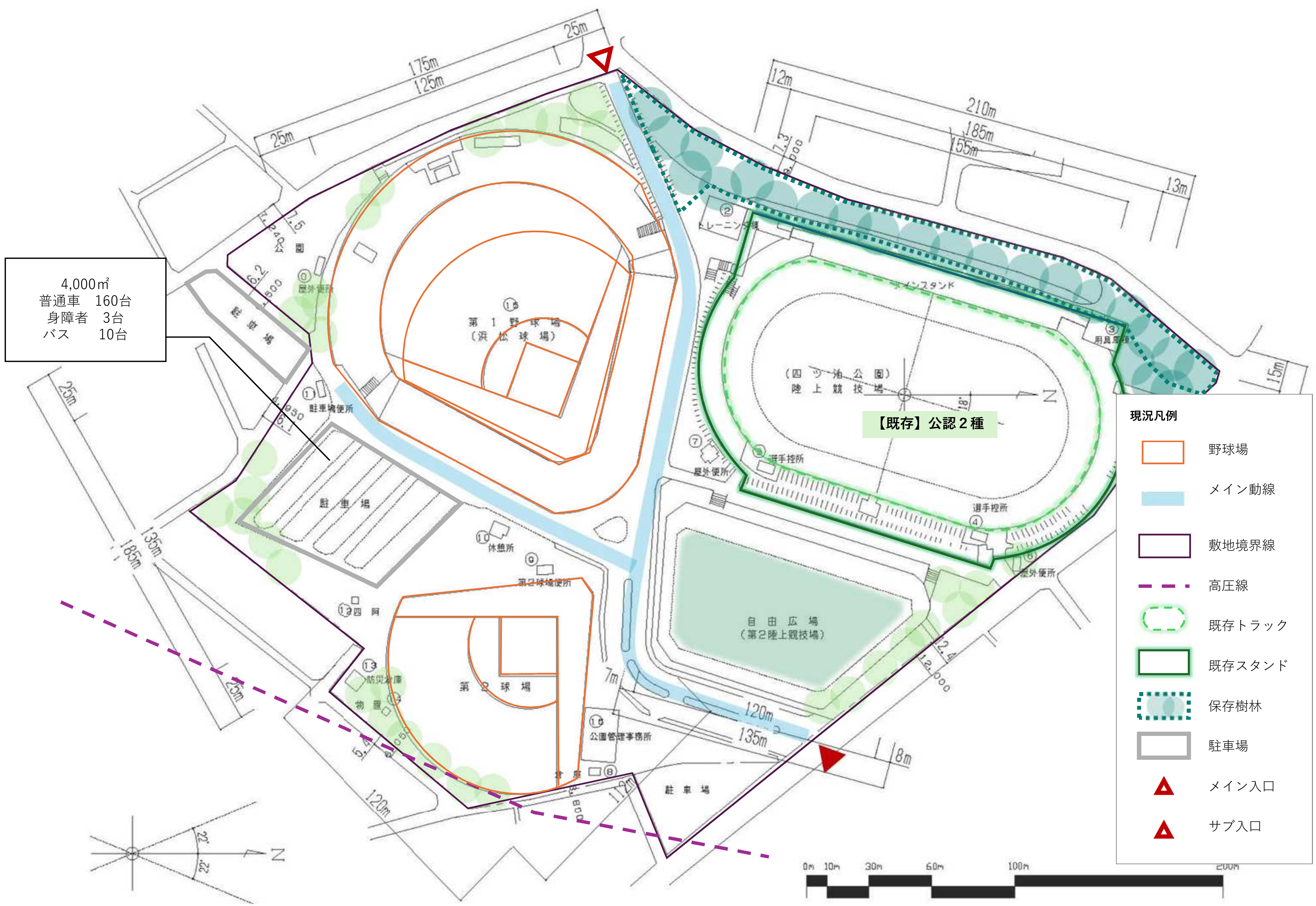
施設名	種別	用途	概算工事費（億円）	工期（年）
陸上競技場	1種	多目的	120	3
陸上競技場	1種	専用	100	3
陸上競技場	2種	多目的	60	2
陸上競技場	2種	専用	50	2
陸上競技場	2種	専用 改修	20	1
陸上競技場	3種	専用・多目	20	1
野球グラウンド			30	1
屋内練習場（陸上）			10	0
屋内練習場（野球）			5	0

3. 整備プラン

・外構や駐車場、公園整備等の経費は除く

分類	種別	用途	考え方	メイン	観客席	サブ	駐車場(台)	屋内練習場	野球場	概算事業費(億円)
A1	公認1種	多目的	球技場を設置	新設	1.5万人	公認3種改修	600	施設内	－	140
A2		専用				公認3種改修	680	施設内	－	120
A参考①		多目的又は専用	レイアウト変更			公認3種新設	400	施設内	－	140
A参考②		多目的又は専用	野球グラウンド設置			公認3種新設	80	施設内	スタンド無	170
B1-①	公認2種	多目的	球技場を設置	新設	1.0万人	第2トラック	700	－	－	60
B1-②			球技場・屋内練習場を設置			第2トラック	520	別棟	－	70
B2-①		専用				第2トラック	780	－	－	50
B2-②			屋内練習場を設置			第2トラック	600	別棟	－	60
B2-③			野球グラウンド設置			第2トラック	400	－	スタンド無	80
B3-①		専用		大規模改修		公認3種新設	880	－	－	40
B3-②			屋内練習場（野球・陸上）を設置			公認3種新設	640	陸上・野球	－	55

【参考】現況配置図



4,000㎡
普通車　160台
身障者　3台
バス　　10台
第1野球場
（浜松球場）
第2球場
（四ツ池公園）
陸上競技場
【既存】公認２種
メインスタンド
自由広場
（第2陸上競技場）
駐車場
休憩所
公園管理事務所
防災倉庫
トレーニング棟
選手控所
屋外便所
駐車場便所
用具庫
175m
125m
25m
210m
185m
155m
12m
13m
15m
135m
185m
120m
7m
8m
現況凡例
野球場
メイン動線
敷地境界線
高圧線
既存トラック
既存スタンド
保存樹林
駐車場
メイン入口
サブ入口

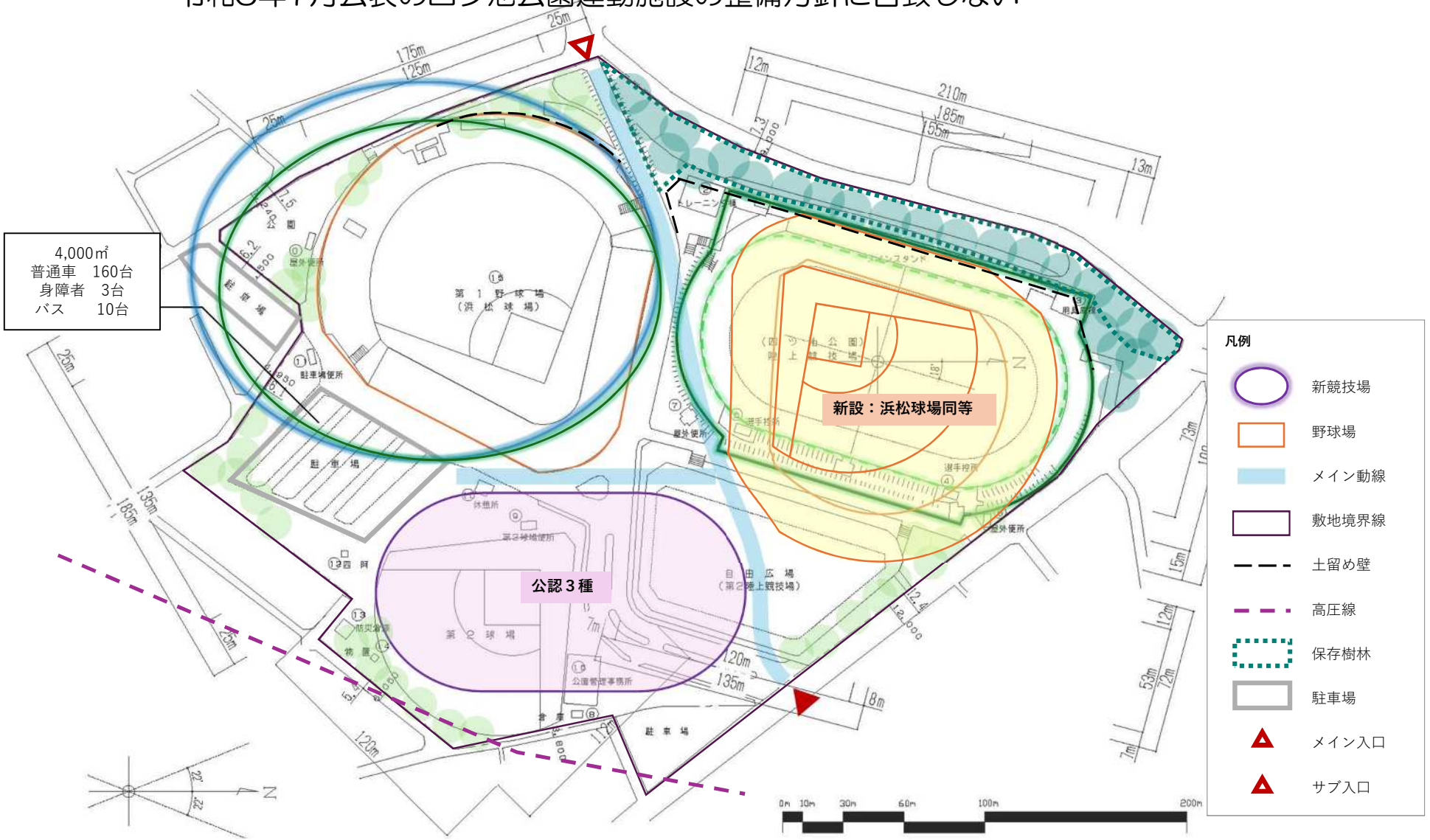
【参考】四ツ池に高校野球対応の球場を再整備

【施設】・公認3種 陸上競技場を新設

・観客席を有する野球場を新設

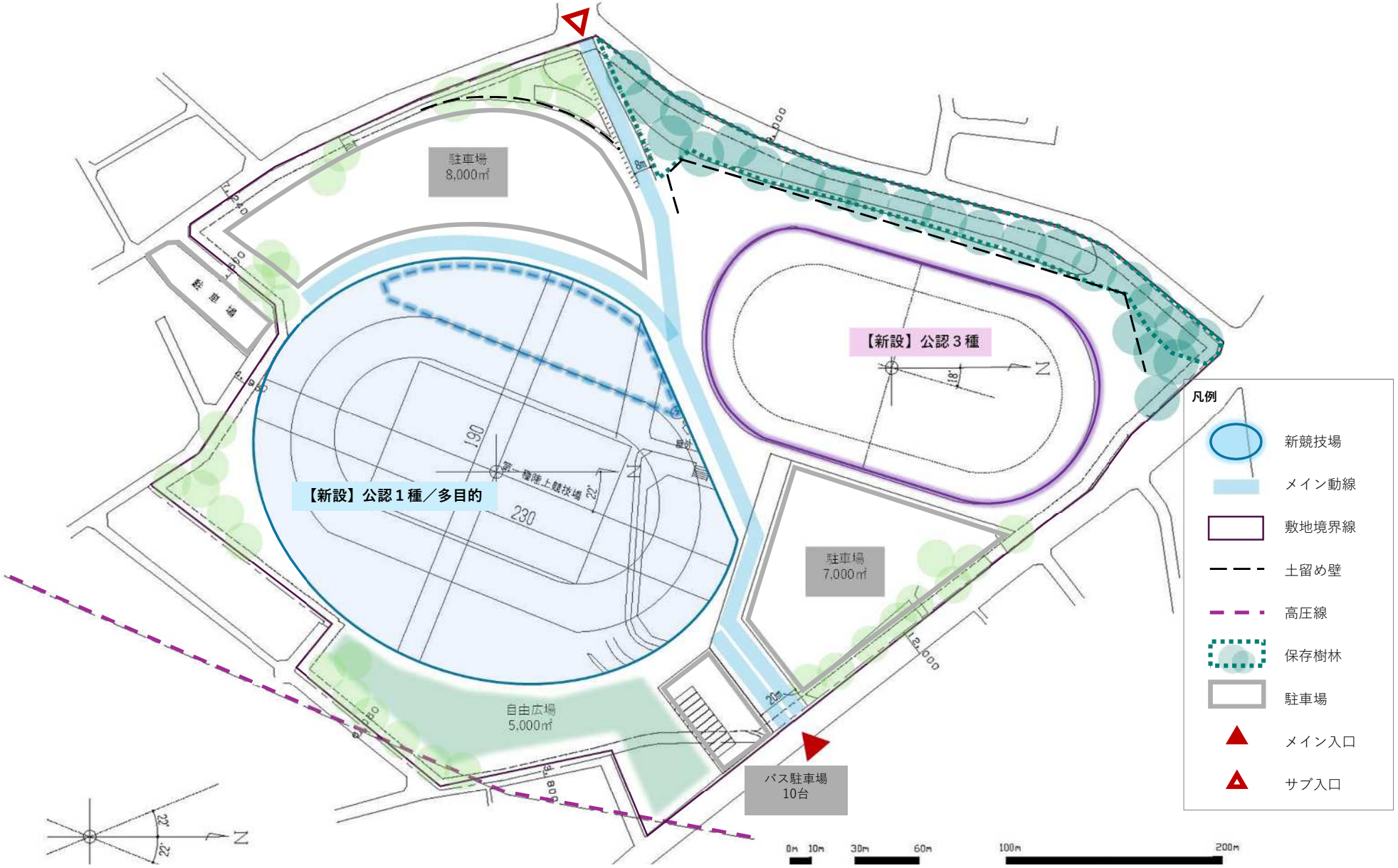
【結果】・公認１種、２種 陸上競技場の新設は敷地不足で不成立

・令和5年7月公表の四ツ池公園運動施設の整備方針に合致しない



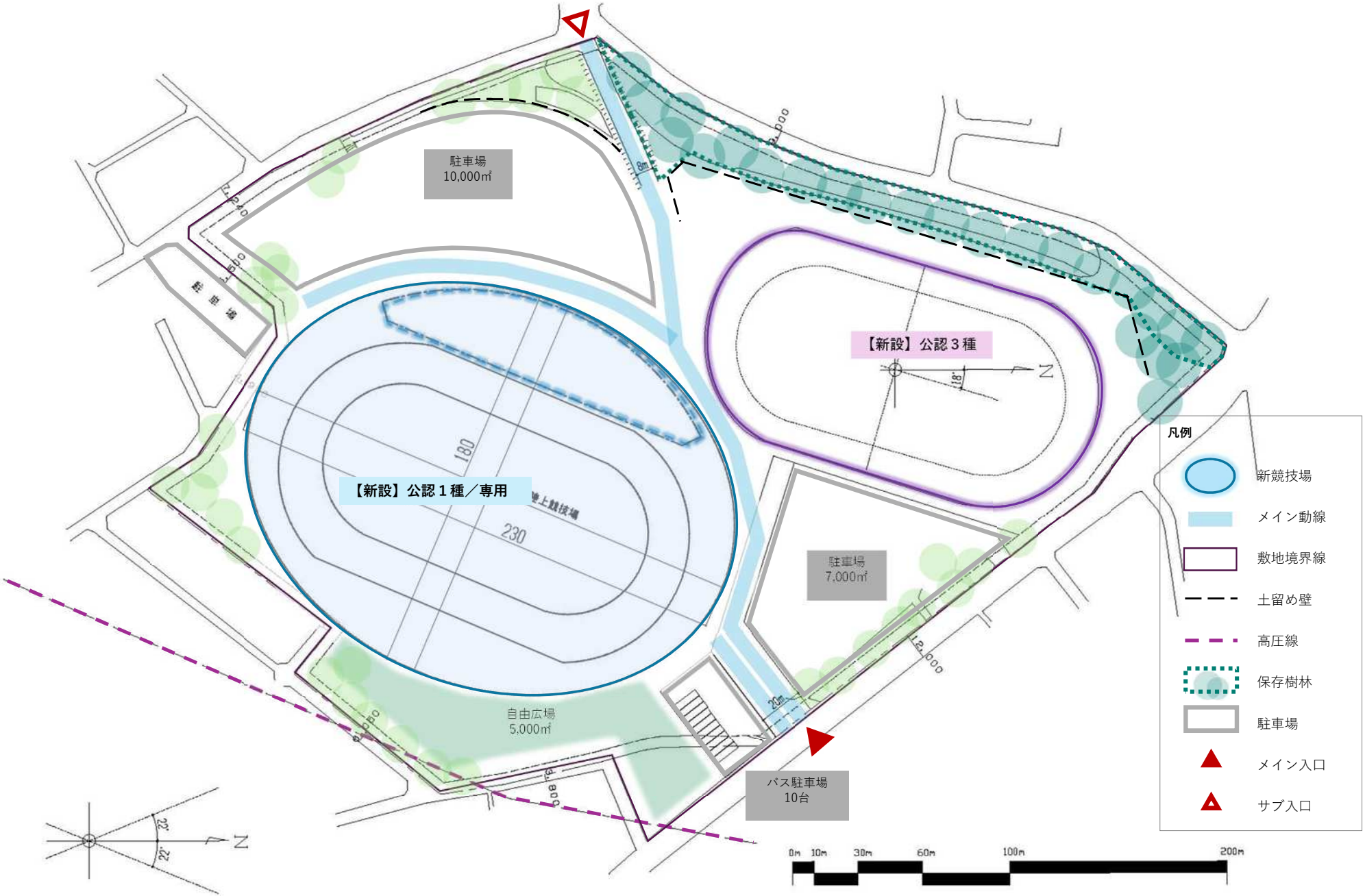
A1：公認１種：多目的 陸上競技場（一部 仮設対応）、駐車場600台

- 競技場のメイン及びサブの南北軸を確保。観客席と構内道路が位置重複
- 国際大会対応時は仮設観客席の設置が必要
- １種競技場の整備を想定しているが、利用キャパに対して駐車場が不足する可能性がある。



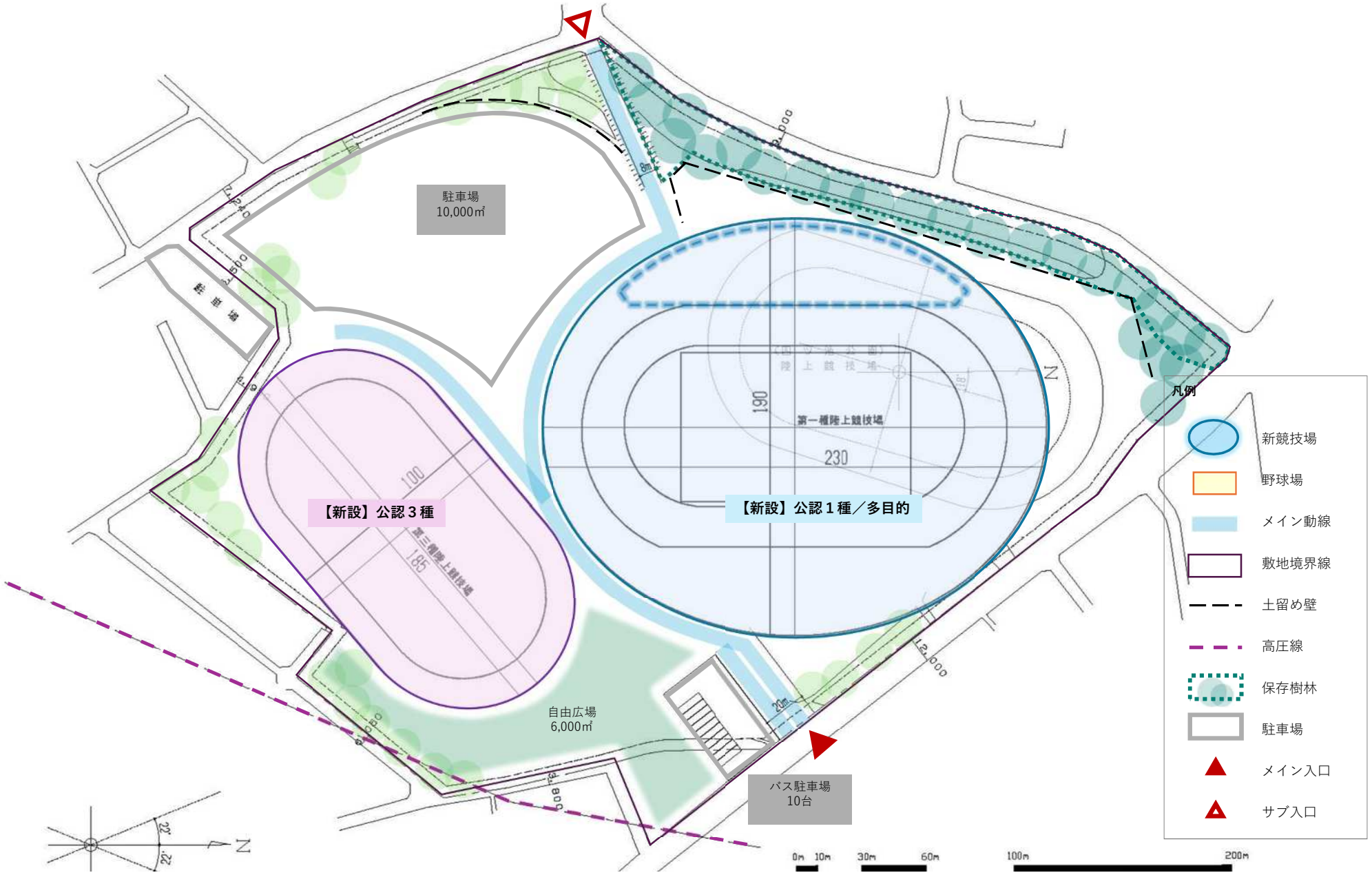
A2:公認１種：<u>専用</u> 陸上競技場、駐車場680台

・１種競技場の整備が可能かつ駐車場も増強。その他、競技場のメイン及びサブの南北軸を確保可。



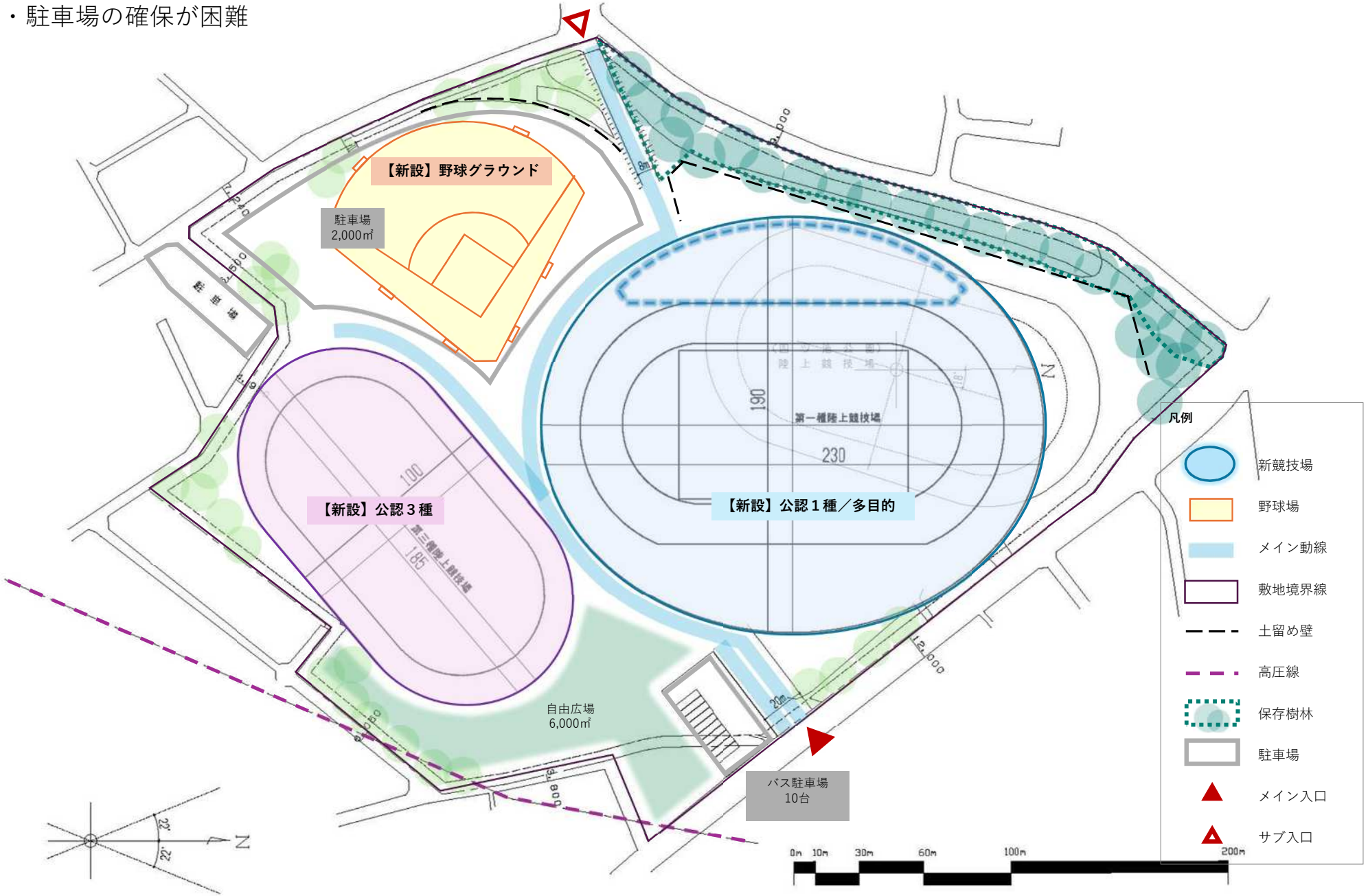
A参考①:公認１種：多目的 陸上競技場 、駐車場400台

・メインとサブの軸が異なることや費用面でも他よりも若干大きい。
・既存の２種競技場が利用できなくなるため、２種以上の大会開催ができない期間が生じる。



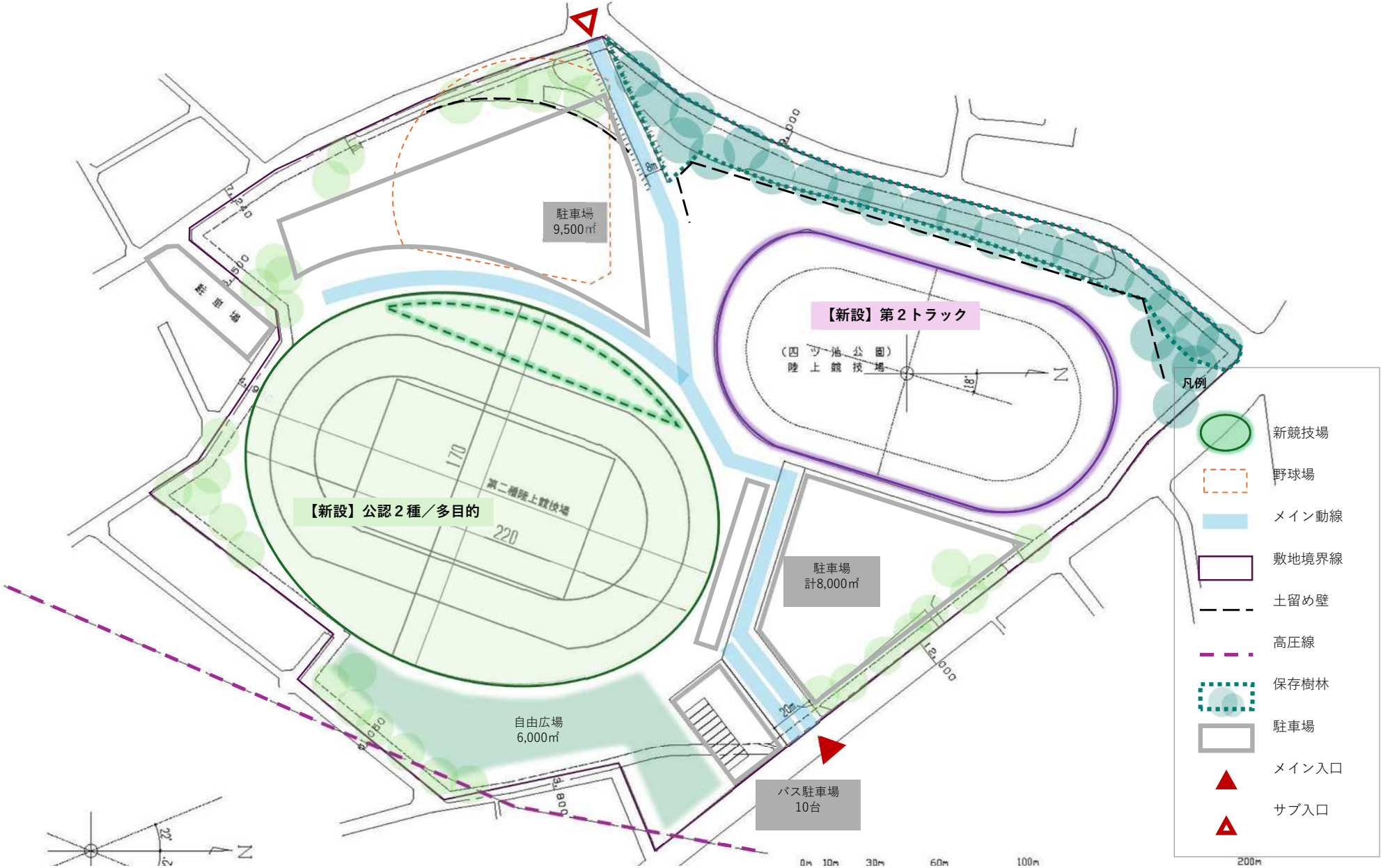
A参考②: 公認１種：多目的 陸上競技場 ＋ 野球場（スタンド無）、駐車場80台

・メインとサブの軸が異なることや費用面でも他よりも若干大きい。
・既存の２種競技場が利用できなくなるため、２種以上の大会開催ができない期間が生じる。
・駐車場の確保が困難



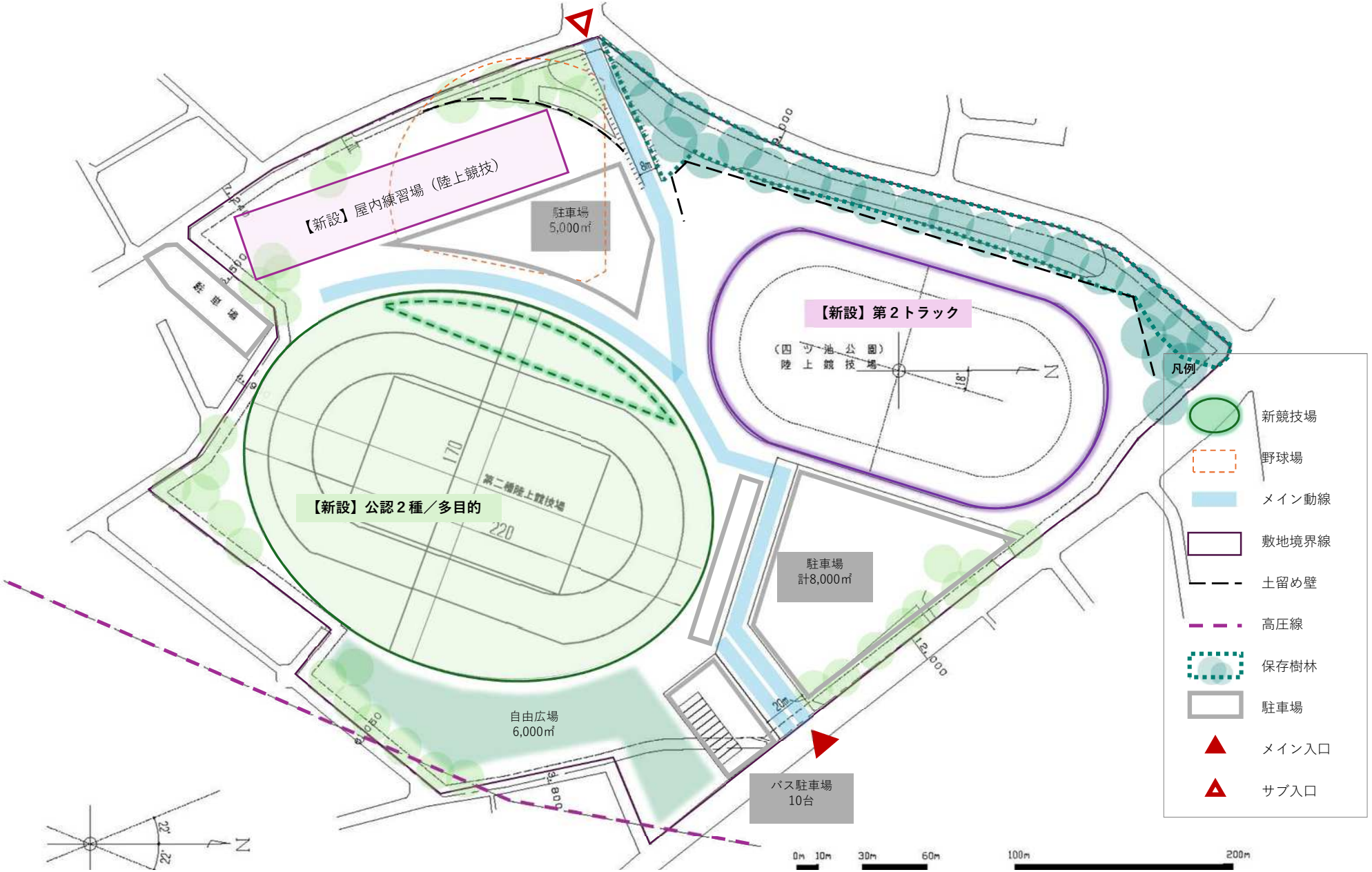
B1-①: 公認２種：多目的 陸上競技場、駐車場700台

・2種競技場の整備で、南北軸の確保は可能であり、さらに駐車場の増強も可。全体整備は安価である。
・利用キャパに対して駐車場が不足する可能性がある。
・屋内練習場はない。



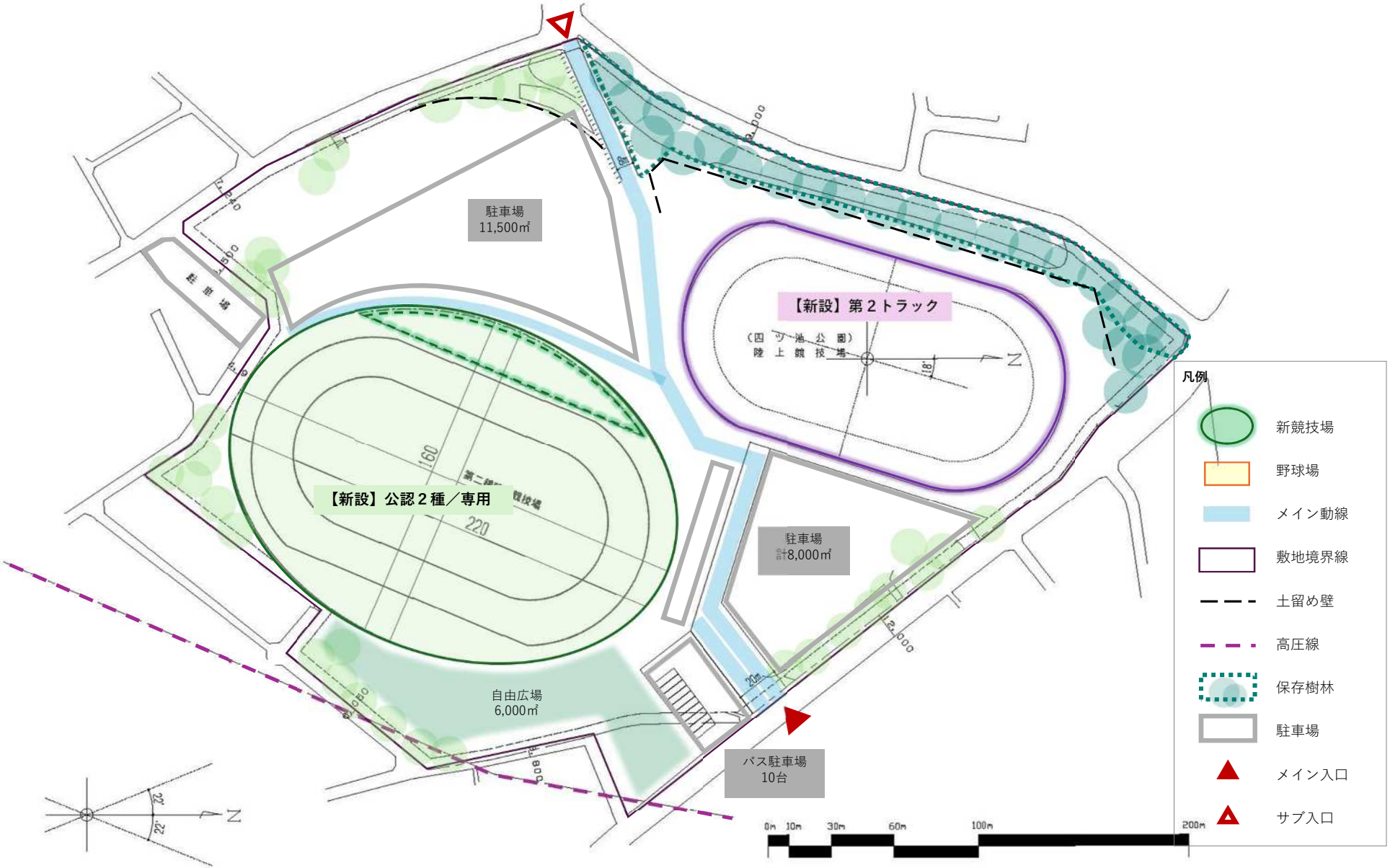
B1-②: 公認２種：多目的 陸上競技場 ＋ 屋内練習場（陸上）、駐車場520台

・2種競技場の整備で、南北軸の確保は可能であり、さらに駐車場の増強も可。全体整備は安価である。
・利用キャパに対して駐車場が不足する可能性がある。
・別途、屋内練習場を確保。



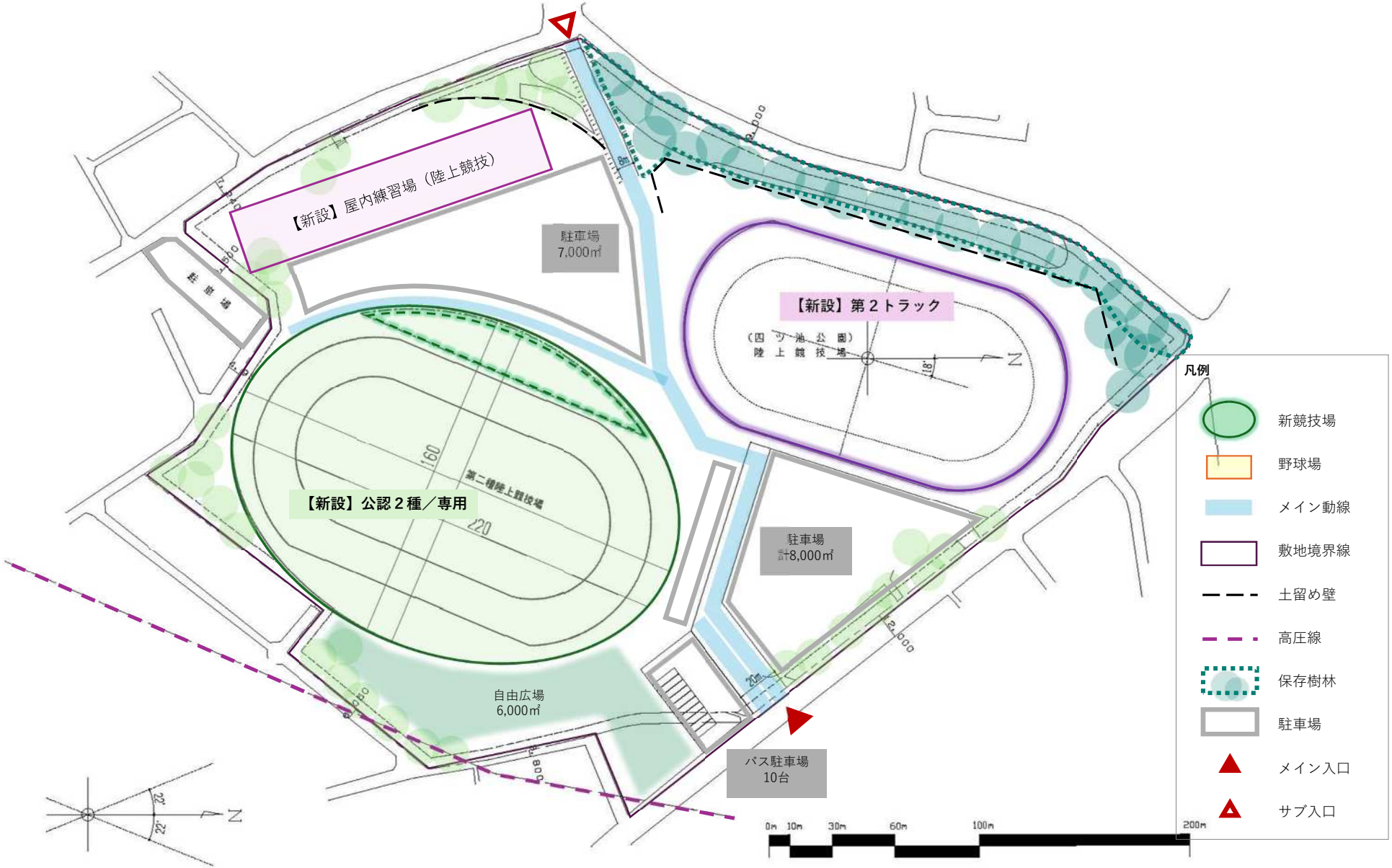
B2-①: 公認２種：<u>専用</u> 陸上競技場、駐車場780台

・2種競技場の整備で、南北軸の確保は可能であり、さらに駐車場の増強も可。全体整備は安価である。
・屋内練習場はない。



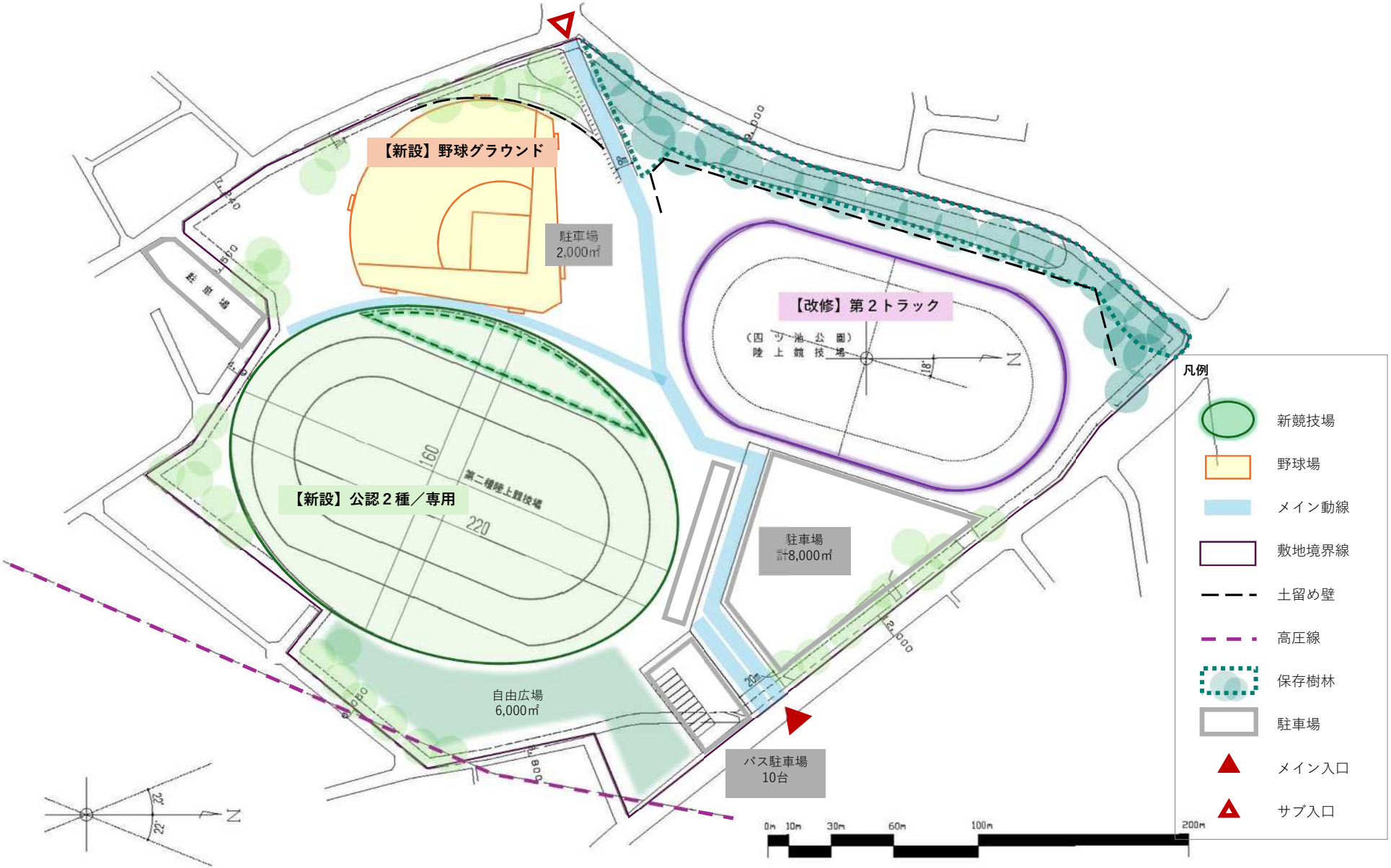
B2-②: 公認２種：<u>専用</u> 陸上競技場 ＋ 屋内練習場（陸上）、駐車場600台

・2種競技場の整備で、南北軸の確保は可能であり、全体整備は安価である。
・別途、屋内練習場を確保。



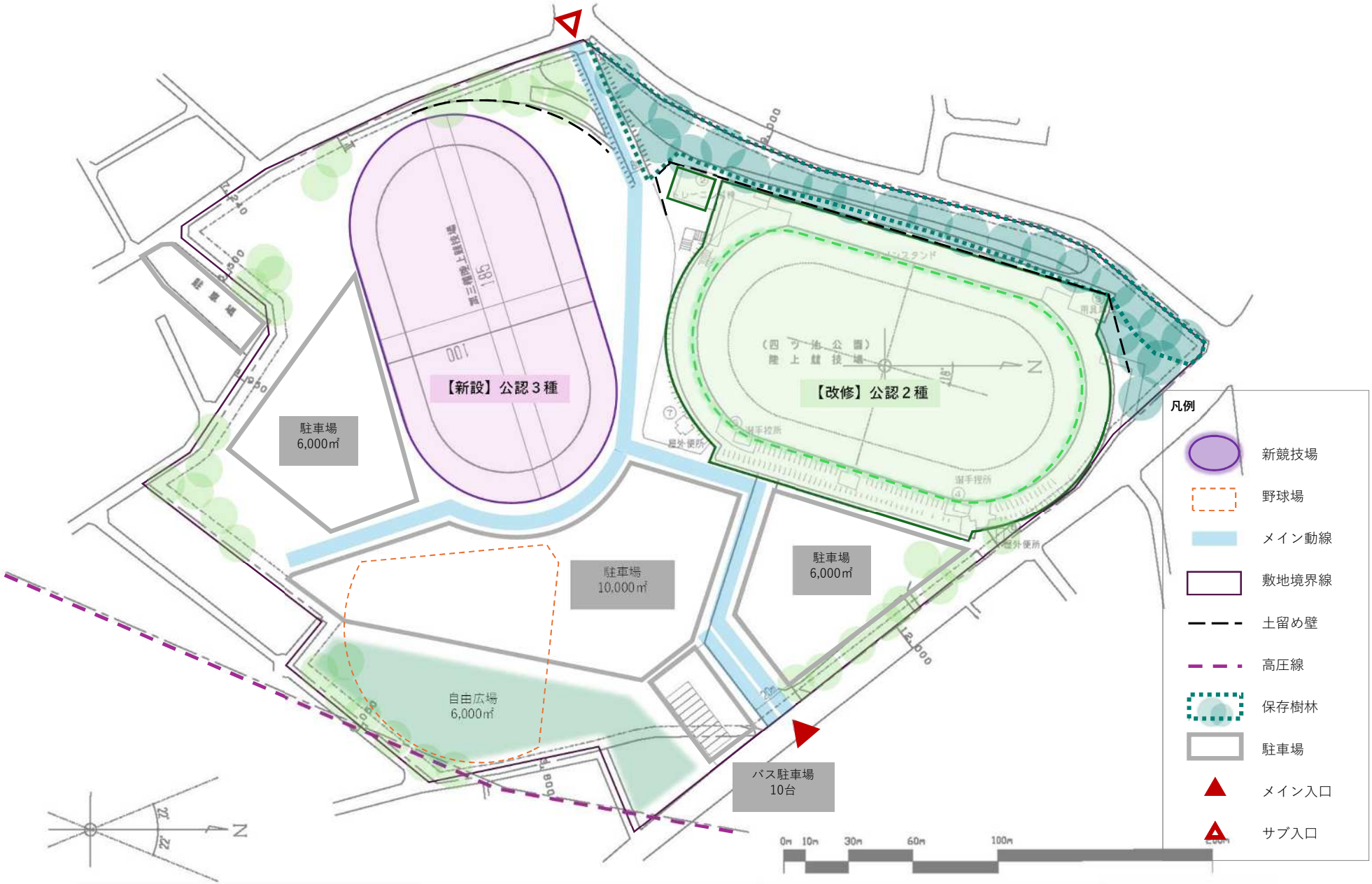
B2-③: 公認２種：専用 陸上競技場 ＋ 野球場（スタンド無）、駐車場400台

・2種競技場の整備で、南北軸の確保は可能
・野球グラウンドの確保
・駐車場の確保が困難



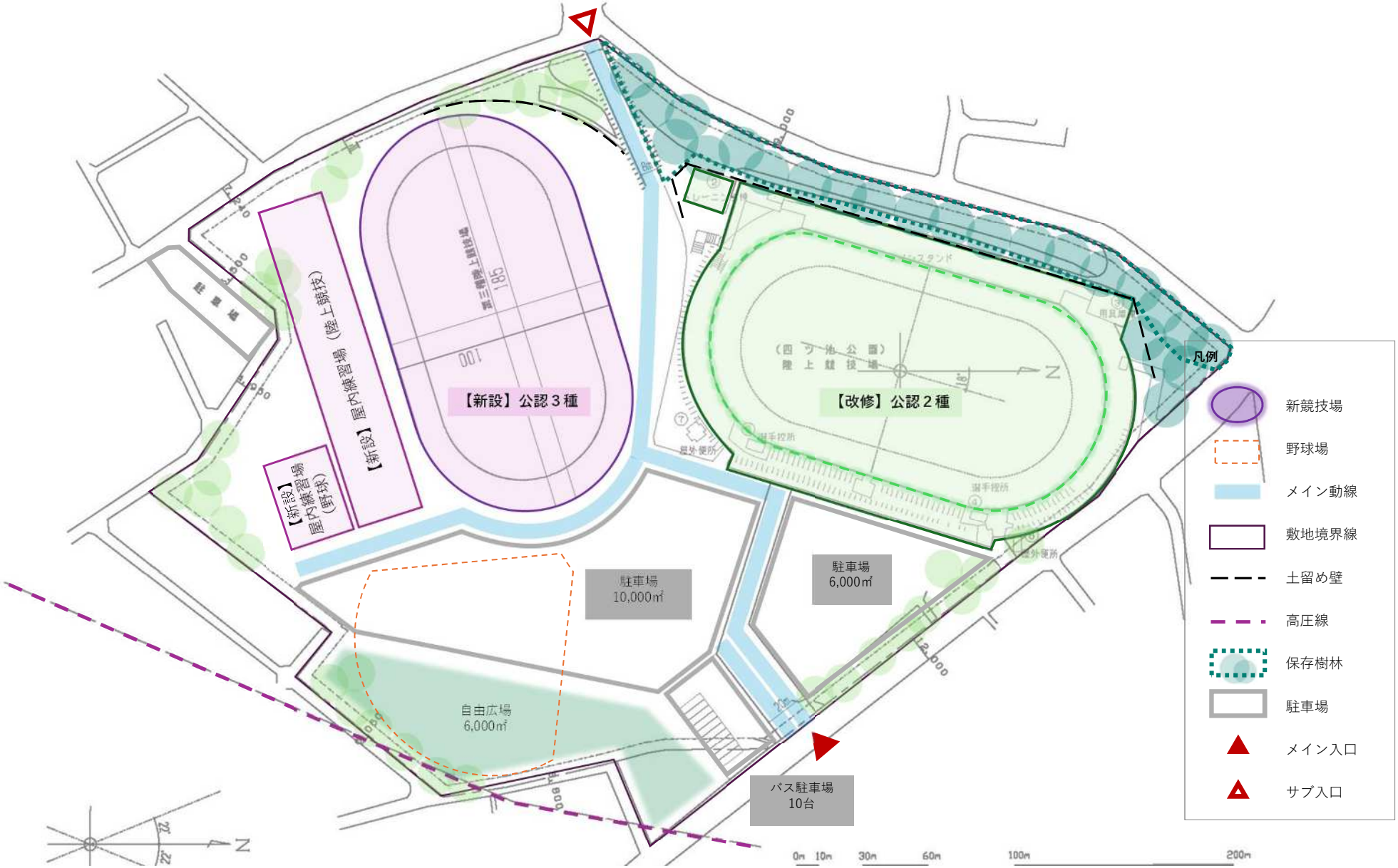
B3-①: 公認２種：<u>専用</u> 陸上競技場、駐車場880台

・全体整備は安価であるが、メインとサブの軸が異なる。
・これまで以上の陸上環境は整備されることや、駐車場の増強が可能である。



B3-②: 公認２種：<u>専用</u> 陸上競技場 ＋ 屋内練習場（陸上・野球）、駐車場640台

・全体整備は比較的安価であるが、メインとサブの軸が異なる。
・これまで以上の陸上環境は整備され、駐車場の増強も可能。
・陸上競技とあわせ野球競技の屋内練習場を確保



４．陸上競技場の整備案

●種別：２種以上（１種又は２種）
※１種の場合でもスタンドは一部仮設も検討
●用途：専用陸上競技場
※インフィールドを人工芝にすることで
多用途の利用が可能
●提案モデル

分類	種別	用途	メイン	サブ	駐車場(台)	屋内練習場	概算事業費（億円）	考え方
－	公認２種	専用	－	－	200	－	－	－
A2	公認１種	専用	新設	公認３種改修	680	施設内	120	・利用団体からの要望を反映 ・施設内に屋内練習場の確保が可能 ・全国大会の開催が可能だが開催のハードルは高い ・スタンドを一部仮設にする等の効果的な工夫は必要
B2-②	公認2種	専用	新設	第２トラック（既存活用）	600	別棟	60	・第１種と同等の改修をすれば選手権大会などの開催が可能 ・別途、屋内練習場を設置

5．今後の工程

【STEP2】

整備方針の検討

･他自治体の状況やニーズ調査（アンケート）、敷地内の配置検討等を踏まえ、陸上競技場の規格や規模等の整備方針を検討予定。

･また、野球場についても高校野球大会の開催を前提とした整備方針の検討を行う。

･なお、整備方針の検討については、以下の項目を行う。

-敷地内全体のゾーニング

-動線計画

-施設配置

-各整備ケースのメリット・デメリット

計画図の作成

･再整備後の配置図、全体のゾーニング図、整備イメージパース等を作成。

現在

【STEP3】

事業スキーム検討

･2回の民間ヒアリングも踏まえ、事業スキームの検討を行う。その際は、いくつかのスキームケースを検討し、定性評価を行う。

民間ヒアリング（第2回）

･第1回ヒアリングの結果を踏まえ、事業スキームの詳細検討を行い、改めて民間意見を収集予定。

･対象企業については、プラットフォームを活用し地域企業からの意見も収集予定。

事業手法評価

･事業手法に関して民間事業者ヒアリングを含む定性評価及び定量評価を加味し総合評価を行う。

事業スケジュールの作成

･陸上競技場、野球場、付帯施設に係る全体の工程スケジュールの作成を行う。